

## 観光交流推進特別委員会会議録

1. 日 時 平成24年3月2日(金曜日)  
午前9時30分～午前10時24分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 下井克己 委員長 萬代泰生 副委員長  
徳並伍朗 委員 村上健二 委員  
山本昌二 委員 河本芳久 委員  
岩本明央 委員 山中佳子 委員  
高木法生 委員 岡山隆 委員  
馬屋原眞一 委員 秋山哲朗 議長
4. 欠席委員 なし
5. 欠 員 1名
6. 出席した事務局職員  
重村暢之 議会事務局長 岩崎敏行 議会事務局主査  
岡崎基代 議会事務局主査
7. 説明のため出席した者の職氏名  
林 繁美 副市長 田辺 剛 総合政策部長  
篠田洋司 総合政策部次長 末岡竜夫 総合政策部地域情報課長  
古屋壮之 総合政策部ゾパーク推進室長 福田和司 総合政策部長  
大野義昭 総合観光部観光総務課長 綿谷敦朗 総合観光部観光振興課長  
高橋文雄 教委文化財保護課長

午前9時30分開会

委員長（下井克己君） 皆さんおはようございます。それでは最後の観光交流推進特別委員会をはじめたいと思います。まず本日副議長は卒業式のため欠席されております。お伝えします。副市長何かございませんか。

副市長（林 繁美君） 特にございませぬ。よろしくお願ひします。

委員長（下井克己君） 議長さんよろしいでしょうか。

議長（秋山哲朗君） 何もありません。よろしくお願ひします。

委員長（下井克己君） それでは式次第に沿って進めて行きたいと思ひます。まず美祢市ジオパーク推進協議会について説明をお願ひしたいと思ひます。すいません申し訳ない。配付物ちょっと申し訳ないです。式次第とジオパーク推進の概要、そしてジオパーク推進協議会組織図、それから協議会の構成団体、顧問、役職とかあります。それから最後に、これは最終報告書に添付するものですが、この5枚ですか、皆さんございますか。それでは古屋ジオパーク推進室長お願ひします。

総合政策部ジオパーク推進室長（古屋壮之君） それでは、美祢市ジオパーク推進協議会、これは現時点まだ仮称ですがこれにつきまして、ご報告させていただきます。

まず昨年12月議会の本特別委員会の後、12月15日に美祢来福センターにおきまして、みねジオパークシンポジウムを開催しましたところ、約300名の参加の中、日本ジオパーク委員会事務局より渡辺先生、日本ジオパークネットワーク事務局より斎藤様のお二人から基調講演を行っていただきました。

本シンポジウムに参加された方にジオパークに関するアンケートを行いましたところ、回答を頂けた大半の方々は、ジオパークに関する認識を深められるとともに、今後、美祢市が日本または世界ジオパークを目指していくことに大変協力的なご意見をいただいたところでありまして、今後の活動を展開していくことにおきましても、有意義であったと感じております。

このシンポジウムをきっかけとしまして、みね市民力育成セミナーと題して、去る28日に美祢市民会館で約54名の市民の参加の下、開催しましたが、引き続き、3月13日には、美東保健福祉センターにおきましても、開催することとしております。

続きまして、前回12月の特別委員会におきましても、若干ご説明させていただきましたが、美祢市ジオパーク推進協議会の設立に向けての取組みにつきまして、ご報告させていただきます。本推進協議会につきましては、本年3月下旬、これを

目標にジオパーク活動に関係する主だった機関、団体を中心としまして、協議会または部会への参画に関する働きかけを、本日机上に配布しております資料をもとに、年明け早々より行ってまいりました。

その際におきましては、説明資料、本日机上に配付させていただいておりますが、美祢市におけるジオパーク推進の概要としまして、ジオパークとは、美祢市が世界ジオパークを目指す理由、ジオパーク認定により期待される効果、それと世界ジオパーク認定の流れの四点について簡潔にまとめたものであります。

委員の皆様におかれましては、既にご承知のことと思いますので、後ほどご覧になっていただければと思います。

次に、本協議会組織についてであります。右肩に別添資料 をあるものをご覧いただきたいと思っております。まず、協議会の組織構成としまして、ジオパーク認定に向けた取り組みに関する事業計画及び収支予算などの意思決定機関であります協議会本体の総会、協議会へ諮るべき重要事項等を審議する幹事会、さらにはジオパーク活動をより実践的に展開させていく部会による構成としているところであります。

一枚めくっていただきまして、協議会の委員構成案をお示ししております。本事業に参画していただく委員構成につきましては、美祢市総合観光振興計画に示されているものを基調としまして、市内の主要機関や教育・普及、保全活動、地域づくりといったジオパーク活動に関係する主だった団体からの参画をお願いしているところであります。

また部会につきましては、まず主に来訪される方々の受け入れ、特に現地でのガイド活動を中心としたおもてなし部会。次にジオポイント・ジオサイトの環境整備・保全活動や次世代を担う子供たちを含む市民への教育や普及活動を中心とした教育・普及部会。最後にジオツアーや地元産品を使った特産品の企画・開発や、市内におけるジオパーク活動を市内外へ広く情報発信を行っていく企画・宣伝部会の3部会で構成することとしております。

部会員につきましては、現時点で想定される関係機関、団体へ参画の働きかけを行っているところであります。現時点では、約30の関係機関・団体からジオパーク活動への参画につきまして、快く承認をいただいている状況にあります。なお一部、機関・団体ともに組織であることから、持ち帰って役員会や総会に諮りたいということもありますので、今後とも団体等増えていくのではないかと考えております。

この部会につきましては、関係機関または団体による構成を基調としておりますが、本年度実施してまいりました市長と語る未来創造まちづくり座談会の中でも、個人的にジオパーク活動に興味を示されている方も多々見受けられましたことから、協議会設立後も、広く市民の方々の参画を募集していくことにより、より一層すそ野の広いジオパーク活動の展開に繋げていければと考えております。

今回お示ししております協議会の組織構成につきましては、まずもって、日本ジオパークネットワーク正会員の登録に向けた第一次的な、ジオパーク活動の盛り上がりには主観を置いた組織構成であると個人的には考えております。

直近の目標であります日本ジオパークの認定を受けることによりまして、ここでは仮称とさせていただきますが、みねジオパークといったネーミング等を活用しての情報発信やPR活動、さらには企画ツアーや特産品といった商品開発が可能となってまいります。

日本ジオパークの認定後におきましては、日本各地の他地域でも見受けられますが、大手旅行業からの参画など、ジオパークを活用した新たな誘客に向けた取り組みへ繋がっていくこととなりますので、協議会組織自体も必要に応じて、その都度、臨機応変に再編していくことが必要となってくると考えております。今後のジオパーク活動の展開を見据えるとともに、多方面からのご意見等をいただきながら、今後とも的確に対応してまいりたいと考えております。

以上、簡単ではございますが、美祢市ジオパーク推進協議会につきましてはのご報告とさせていただきます。以上です。

委員長（下井克己君） 只今説明・報告がありましたが、何かご意見・ご質問等がございましたら受け付けますが、今見られたばかりで急にというのも何でしょうけど、いかがでしょうか。

すいません私のほうから一つ。委員会構成、協議会の委員会の中に委員として美祢市小中学校PTA連合会というのがございまして、おかしくはないと思うんですが、教育普及部のほうにまた会員としてございます。これはどういうどういうことでしょうか、別段これは意識的にやられたわけですかね。はい、古屋室長。

総合政策部ジオパーク推進室長（古屋壮之君） ジオパーク活動の中では、実践する際におきましても各学校単位、とくにPTA活動等もジオパーク活動に繋がっていくと考えられます。ですから協議会委員としてもご参画いただく中で部会のほうでもそれぞれの活動を取り込んでいくという意図を持って、今回部会の中にも部会員として組み込んだところであります。以上です。

委員長（下井克己君） はい、ありがとうございます。皆さん何かございませんか。よろしいですか。はい、萬代副委員長。

副委員長（萬代泰生君） この協議会組織を新年度、だいたいどれくらいの時期を目途に立ち上げを考えておられるんですか。

委員長（下井克己君） はい、古屋ジオパーク推進室長。

総合政策部ジオパーク推進室長（古屋壮之君） 実は先程ちょっと触れましたが、協議会委員につきましては、年明け早々からもう参画の依頼を行っておりまして、実は昨日ほとんどの団体機関から口頭ではありますが、了承は得てます。

昨日実際に参加いただく委員さんの推薦、あと承諾のお願いを昨日行っております。それを持って3月を目途にということで申し上げましたが、現時点で想定しておるのが、3月23日、これがベストではないかということで、今、設立総会の段取りを進めておるところでございます。以上です。

委員長（下井克己君） よろしいですか。はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） 日本のジオパーク認定に向けてということで、今後美祢市も認定に向けて、行政また市民一体になってしっかりと押し進めて行かなければならないこういった問題を抱えておりますけれども。この認定に向けて特に市民の参加ですよね。これがなかなか実際景気も悪いし、遅くまで仕事をされてる。特に30代、40代、なかなかこういったジオパークの構想の認定に向けて、何とか努力して行きたいというそういう気持ちをもってる方はたくさんおられますけれども、なかなか現実にこういったところに参加することが難しい。往々にして60を超えた定年の方が参加するような形になることが往々にして多くなると思いますけれども、こうした30代、40代、こういったエネルギッシュな方が参加する市民一体となって、このジオパーク認定に向けてどのように盛り上げていくかということが、大きな課題になってくると思いますし、また女性のパワーもしっかりと引き出していかねばならないと思いますので、そのところを少し見えないところもありまして、今後そういったところを、市民の下地からしっかりと盛り上げていくために、どのような方向で今後されるかちょっとその辺を伺いたいと思います。

委員長（下井克己君） はい、古屋室長。

総合政策部ジオパーク推進室長（古屋壮之君） 岡山委員さんのご質問につきましてですが、特に現在ここにお示ししてる団体等、いずれも共通の課題かかえておりまして、どうしても活動を続けていく上での後継者問題が取り沙汰されております。岡山委員言われたように、若者、特に若者を含め女性の活動の活性化、これが

問題になって参りますが、とりあえず美祢市内におきましても、若者の活動が少しずつではありますが磨かれてきております。

また女性団体等の活動につきましてもそれぞれの地域におきまして、少しずつでは進んできております。

こういった活動を広く市民の方々に紹介することによって、若い方達がこういったことに協力できるか、微々たるものでも参加できるのではないかとということをご紹介しながら、ジオパーク活動へ繋げていきたいというふうに考えております。

今後協議会が立ち上がる中で、各部会が活動を進めて参ります。その中でも今、言われたように、若者の参画、女性の参画、これが最重要課題になってこようかと思っておりますので、協議会の中においても引き続き検討して参りたいというふうに今考えております。以上です。

委員長（下井克己君） よろしいですか。はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） それについては思っただけはしっかりと分かるんですけど、次の一手を具体的にどう打っていくかということで、なかなかそのところが、行政のほうも見えなくて、なかなか手が打てないところではないかと思っております。そのところをしっかりと今、執行部の方おられますので、ここで机上で言っても難しいところがありますから、しっかりと自分の人脈の範囲以内で結構ですし、そういった若い人、また女性の方と、どのようにしたらこのジオパーク認定が本当に市民一体となっていけるか、身近なところで結構ですので、しっかりとこの辺のお話しっかりと十二分にされて、そういった中から糸口を盛り上げて行くための施策、方策というのを見つけていただきたいと思っておりますけれども、その点どうですかね。

委員長（下井克己君） はい、古屋室長。

総合政策部ジオパーク推進室長（古屋壮之君） 身近なところの人脈等言われましたが、実際に若者の活動団体としましては、美祢地域全体で活動しております美祢青年会議所、JCですが、そういった活動、そういったところにもジオパーク活動についての働きかけを行っております。

また女性団体連絡協議会、こちらも様々な女性の方々の活動を取り込んだ協議会となっておりますので、そういったところにもジオパーク認定に向けて何が必要なのか、こういった活動を展開していかなければいけないのか、いうのも今後深くお伝えしながら、この活動のすそ野を広げて行きたいと考えております。

また地域的に何かしようとしましても、現在総合政策部のほうでもみらい創造交付金でしたか、そうした交付金を活用されて地域の活力の活性化にも取り組んでお

られるところも多々ありますので、そういったところにもジオパーク活動を浸透させたいというふうに今、考えております。以上です。

委員長（下井克己君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） 特にですね、小・中学生、高校生も含みますけれども、そういったところにジオパーク認定するための啓発、そういった本当に青少年、そういったところにもしっかりと私がジオパーク認定を行うための啓発活動というの、しっかりと進めて行かなければならないと思いますし、そのこのところの対応についてはどのようにお考えでしょうか。

委員長（下井克己君） はい、古屋室長。

総合政策部ジオパーク推進室長（古屋壮之君） 小・中学校、高校への教育の場ということになると思いますが、実は現時点でも秋吉台周りの小学校、小学生が主体となった小学生ガイドというような活動もございます。

それとまた来年度ですか、教育委員会のほうでも各小・中学校対象にして、出前講座等も検討されておるところでございますので、そういった機会をもって子どもたちへの教育普及、美祿市がジオパークになることによってどういうことになっていくのか、またジオパークとは何か、ということ、教育の場で持ち込むことによって、美祿市の素晴らしさを伝えていければというふうに今考えています。以上です。

委員長（下井克己君） はい、ありがとうございました。ほかにございませんか。すいません、私もう一つ、すいません。協議会の委員構成の中で、山口県とございます。これ今ここに糸魚川とかの分が配付してありますけど、国・県の機関が結構糸魚川のほうに入っていると思います。美祿の場合は、今山口県ほかにもありますけど、詳しく載ってないですよ、県民局としてしか。例えば山口県土木宇部の美祿支所ですか、そういう感じの書き方というのは、別がないんですかね。はい、古屋室長。

総合政策部ジオパーク推進室長（古屋壮之君） 只今のご質問ですが、実は当初は山口県の関係から参画いただくと考えておりましたのは、観光交流課、それとあと中山間地域づくり推進室、自然保護課、社会教育文化財課、この4課からの参画を当初お願いしたところなんですが、さすがにジオパーク推進事業、行政の中においても多岐にわたるということですので、取りあえず山口県については、地域政策の中でということで、宇部県民局を代表として参画いただくことになりました。

なおそれぞれ協議会の中では、議題とする事項を取り上げる際に、それぞれ専門

的な分野になると、やはりその専門家のほうからお話を聞かないと分からないということですので、アドバイザーという形で県の専門家のほうから参画いただきたいと。今、県のほうと調整が終わりまして、今このような形で県民局からの参画をお願いしてるところでございます。以上です。

委員長（下井克己君） はい、分かりました。それではこの件についてはよろしいですか。はい、河本委員。

委員（河本芳久君） 今、推進協議会が立ち上げられると、こういうことになりましたが、こういう組織を立ち上げて実際に活動するためには、やはり年次計画なり、それから一番今心配してるのが、市民がどうこれに関わっていくかという、その辺の見通しというのはどうなってるのかお聞きしたいんです。

というのは、例えばジオサイトとして今年は大岩郷の整備しようというような、そのほかこういった場所を一つ見ていただき宣伝していきたい。そのためにこれから年次的にこういうふうに整備して行きますよと。こういったものが一応想定されているのか、どうかその辺を一つお聞きしたい。

委員長（下井克己君） はい、古屋室長。

総合政策部ジオパーク推進室長（古屋壮之君） 河本委員のご質問ですが、推進協議会の設立総会の中で協議会の事業計画と言いますか、ご提案するようになるかと思っております。一応平成24年度の事業計画の概要としましては、まず以前本委員会の勉強会か何かでお示ししたかと思っておりますが、美祢市を代表する地質をピックアップしたジオサイト、ジオポイントの案があったと思います。そう言ったところを取りあえずピックアップしながら協議会の中、部会の中で、まず美祢市民の方々に美祢市にこういったものがあるかというのを知っていただく、こういった講習会も行いたいと考えております。

それとあと特に重要になるんですが、ジオサイト、ジオポイント、この現地でのガイド活用が重要になると思います。そういったガイドの育成講座にも力を入れたいと。先程もちょっと申しましたが、小・中学生を対象にした教育文化活動、出前講座等活用しました教育普及活動を進めて参りたいというふうに考えております。

このことを繋げていくことによって、まず日本ジオパークへの認定申請書の作成が可能になるかというふうに今考えております。あとジオサイト、ポイントの整備計画につきましては、また予算に伴うものでございますので、協議会の中での特に部会の中でも、中長期的な計画を検討していきたいというふうに考えております。以上です。



委員長（下井克己君） はい、河本委員。

委員（河本芳久君） いわゆる世界にまたは日本各地に紹介して地質的な遺産、その選定が第一だろうと思うんですね。その中核になるのは秋吉台、秋芳洞に関わる問題、そのほか今、石炭関係とか、大岩郷ようなとかいろいろ言われてますけれども、やはり中心になるのはカルスト台地、その洞窟ということに視点を充てて、美祢市の場合はジオパーク構想を立てていくんだとか、そういう基本的なものが煮詰まって事務局でいるのかないのか、その辺お伺いします。

委員長（下井克己君） はい、古屋室長。

総合政策部ジオパーク推進室長（古屋壮之君） ジオパークの中でのジオサイトとして中心になるのは、やはりカルスト台地が中心になるかと考えております。それだけでは、やはり今後ジオパークを認定を受けた後の誘客の確保、滞在時間の延長に繋げていくためには、美祢市内に散らばっている自然遺産、地質遺産を点から線に繋げて、更には美祢市全体のメニューにしていかなければならないと考えてます。

そのことにつきましても、構想としてある程度の骨格的なものはあるかと思うんですが、そういったものに対する肉付け等を1年間かけて詰めて参りたいというふうに考えています。以上です。

委員長（下井克己君） はい、よろしいですか。それではほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（下井克己君） それではこの件についてはこれで終わります。23日の第1回目ということで、よろしく願いいたします。

次の議題といたしまして、最終報告について、1枚皆様のお手元に配付してると思います。空き店舗対策についてと日本ジオパーク認定に向けてというのですが、鏡を付けまして、それと1回、2回、要望をもう議長のほうに出しております。それをまたそのあとに添付として付けます。それを最終報告としたいと思いますが、よろしいでしょうか。はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） 二点ほどお尋ねしたいことがあるんですが、一点目は今この頂きました空き店舗対策についてというのがあります。先般も県内の市が空き店舗もしかり、また空き家についての問題を報道しておりました。なかなか今まで美祢市のこの空き店舗対策については、土地の所有権とか、建物の所有権とか、企業が倒産しておるとか、なかなか前に進まなかったわけですが、そのようなまで全国的

にも数市の市がですね、こういう条例なんか作っておるように報道されました。

その辺の中味について、なかなか今まで前に進んでなかったんですが、そういう市の事例は研究をしておられますかどうかということは一点です。

委員長（下井克己君） 岩本さんすいません。私が、委員長が最終報告として議長に提出する書類であって、執行部は関係ありません。（発言する者あり）申し訳ないですけど、こういうふうな要望を議長へ提出しようということで、皆さんにちょっとご了解いただけないかなということです。空き店舗対策については前回、前々回とやったと思いますけど。そういう意見を聞く場では今ごさいません。すいませんが。（発言する者あり）これに対して付け加えたいという言葉とかあれば、言っていただければ付け加えたいと思います。はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） ならあれですか、今まで議論した空き店舗のことはあれで終わりなんですか。結論は全く出てないですよ。（発言する者あり）それをやっぱり詰めちょかんと、極端に言うとなんでこの委員会、特別委員会やったんかというようなことも考えられんこともない。（発言する者あり）

委員長（下井克己君） だからこの最後にあります、地主商店街と話し合いの上整備計画を立てる等早期解決要望しますと。これにつきるかなという思って、これしか入れてないんですけど。（発言する者あり）岩本さんの意見がなんかございましてそこをまたこれに付け加えて要望書として出したいと思います。はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） だからその辺をあれ以降執行部がどの辺まで研究なり勉強なりしておられたかということをお大変僕は気にかかるんですよ。その辺ちょっとできれば付け加えてもらわんと、何したんやらわからんちゅうようなことじゃ、言われそうな気がしますよ。本当の話が。（発言する者あり）

委員長（下井克己君） すいません、暫時休憩させていただきます。

午前10時00分休憩

.....

午前10時20分再開

委員長（下井克己君） それでは、休憩前に続き再開いたします。では、岩本委員すみません。はい。

委員（岩本明央君） 先程、いろいろ申し上げましたが、この今の委員長報告として、私のほうから要望、望みを申し上げたいと思います。この廃屋の問題、空き店舗等もいろいろありますが、全国的にも、また山口県としても重大な大変処理のし

にくい問題であることは間違いありません。それで、この委員長がお作りになりました文章の中に上から6行目、最後のところに、私としたら先進地等の事例を十分研究されて、早期解決を要望しますというようなことでお願いできたらいいなあと考えております。それも萩市も確か15日か20日ぐらい前にこういう条例を作っておられますし、今、聞いたら、なかなか罰則規定というものはないようですから、その辺の難しい問題もあるようですが、その内容等も十分研究をしていただきますように私のほうからご要望を申し上げます。

委員長（下井克己君） はい、ありがとうございます。今、岩本委員が言われた意見をこれに追加したいと思いますが、よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それと今、一枚しか、ちょっと皆さんに配付してませんが、こういうふうにやりますして、前回、当然ジオパークサイトの関係とか、ガイドの関係、これもこういうふうにして、最終報告として提出いたします。それでは、これで最終報告ということでさせていただきます。ありがとうございます。では、以上で終わります。最後にひとつ。

観光交流推進特別委員会の閉会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。この特別委員会は、一昨年6月定例会におきまして、秋芳洞、秋吉台を中心としたジオパーク登録は、今後のさらなる美祢市の一体感の醸成並びに交流拠点都市、観光立市として飛躍するために不可欠と考えられ、今後、行政と地域住民が一体となって取り組み、着地型観光、交流のあり方等について研究、検討する必要があり、観光交流等の推進に関する事項を調査、協議することを目的として作られました特別委員会でした。

本日で10回の委員会を開催いたしまして、委員皆様方の真剣なご審議により、一昨年9月にジオパークについての予算要望、昨年6月に観光ガイドブックについての案と2回の要望を議長に提出しております。

今定例会閉会後に最終報告として先程、ご了解いただきました要望を提出いたします。

これもひとえに委員各位のご協力によるものと深く感謝申し上げます。衷心より厚くお礼も申し上げます。また副市長を始め、執行機関の皆様方におかれましては、審議の間、常に真摯な態度をもって審議にご協力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。この特別委員会を通じて、委員各位から述べられた要望、意見につきましては、今後の観光における行政の執行に際しまして、十分反映されますよう強く

要望いたしまして、閉会の挨拶といたします。ありがとうございました。これにて、閉会いたします。お疲れでした。

午前10時24分閉会

---

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成24年3月2日

観光交流推進特別委員会

委員長

下井克己